

令和2年度 兵庫県当初予算の概要

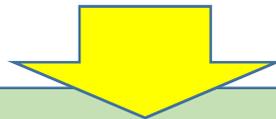
～令和新時代 兵庫の挑戦～



令和2年3月 兵庫県

当初予算の編成方針

- 行財政構造改革を成し遂げたが、震災の復旧・復興による財政負担が今後も10年は続く。
(令和元年度末の震災関連残高:3,229億円)
新型コロナウイルス感染症や米中貿易摩擦などの影響により、**税込見込みも不透明で、依然として厳しい財政環境**
- しかし、震災から25年を経過した今こそ、新しいステージにふさわしい県政を推進し、**人口が減っても活力のある、住み続けたいと思える元気な兵庫**をつくることが重要
- 求められているのは、2030年の展望で描いた**「すこやか兵庫」の実現**。
あらゆる分野の質を高めるための種をまき育てていく。
大きく後れをとってしまった**社会資本整備やまちの再整備**にも取り組む。



令和新時代の本格的なスタート。復興の先の新しいステージへ

<予算規模>	全 会 計	3兆9,549億円 (+1,730億円、+4.6%)
	一 般 会 計	1兆9,956億円 (+602億円、+3.1%)
	特 別 会 計	1兆6,866億円 (+1,158億円、+7.4%)
	公営企業会計	2,727億円 (Δ30億円、Δ1.1%)

【歳入の特徴】

＜県 税 等＞ 8,566億円（+271億円、+3.3%）
（8,131億円（△117億円、△1.4%）【消費税率引上げ分除く】）

- ・ 法人関係税（△108億円） 企業業績の悪化による減
- ・ 地方消費税（+387億円） 税率引上げの影響による増

＜地方交付税等＞ 3,945億円（+114億円、+3.0%）

- ・ 幼児教育や高等教育無償化などの制度充実分に加え、偏在是正措置財源(※)を活用した地域社会再生事業費の創設による基準財政需要額の増
（※ 法人県民税法人税割の一部を国税化し、交付税原資として活用）

＜県 債＞ 1,251億円（+13億円、+1.1%）

- ・ 緊急浚渫推進事業債の創設等による増

（参考：交付税措置のある有利な県債の活用）

起債名	期間	起債充当率	交付税措置率	R2予算額
防災・減災・国土強靱化 緊急対策事業債（補助事業）	～R2 3か年 緊急対策	100%	50%	110億円
緊急自然災害防止 対策事業債（単独事業）			70%	126億円
新 緊急浚渫推進事業債 （単独事業）	R2～R6			40億円

【歳出の特徴】

＜行政経費＞7,847億円（+110億円、+1.4%）

- ・融資残高の減少により、中小企業制度資金貸付金を減（△108億円）
- ・社会保障関係費は、自然増に加え、幼児教育や高等教育の無償化などの制度を充実（+178億円）

＜投資的経費＞2,121億円（+16億円、+0.7%） ※災害復旧事業費を除く （2,629億円（+193億円、+7.9%）【14か月予算】）

- ・地方財政計画の水準を基本としつつ、防災・減災、国土強靱化推進のための3か年緊急対策や、新たに創設された緊急浚渫推進事業などを別枠で計上
- ・経済対策補正と合わせた14か月予算で、+193億円の事業費を確保

（単位：億円）

区 分	令和2年度14ヶ月			令和元年度14ヶ月			増減	
	R2当初	R1.2補正 (経済対策)	計	R1当初	H30.2補正 (緊急対策)	計	A-C	B-D
	A		B	C		D		
普通建設事業費	2,121	508	2,629	2,105	330	2,435	16	193
国庫補助事業	1,229	458	1,687	1,256	330	1,586	△26	101
別枠								
緊急対策	0	458	458	0	59	59	0	399
防災・減災、国土強靱化 緊急対策事業	214	0	214	236	271	507	△21	△293
県単独事業	889	50	939	850	0	850	39	89
別枠								
緊急自然災害防止対策事業	120	50	170	120	0	120	0	50
緊急浚渫推進事業	40	0	40	0	0	0	40	40
県庁舎等再整備事業	3	0	3	0	0	0	3	3

注：端数処理の関係で、増減は一致しない場合がある。

＜公債費＞3,018億円（+278億円、+10.1%）

- ・行財政構造改革期間中に発行した退職手当債及び行革推進債の県債残高縮減対策実施による元金の増(+302億円)

行財政運営方針における財政運営目標の見通し

依然厳しい財政環境（震災関連県債（R1末：3,229億円）等の償還、税収見込みの減）

- ⇒ 行財政構造改革期間中に財源対策として発行した交付税措置のない退職手当債・行革推進債について、新たな借り換えを行わず、**県債管理基金を活用して償還**
- ・ **これにより、将来的な公債費負担を軽減**

（単位：億円、％）

区 分		R1年間	R2当初	10年間の目標
フ ロ ー 指 標	収支均衡	0	0	収支均衡
	県債依存度 （県債発行額/一般財源） 〔臨時財政対策債除き〕	12.3%	9.6%	毎年度の地方財政計画の一般財源総額に対する 地方債〔臨財債除き〕の割合以下（R2:9.5%）
	実質公債費比率（単年度）	14.9%	15.4%	18%未満
	公債費負担比率 （公債費/一般財源） 〔震災関連県債除き〕	18.4%	18.3%	毎年度の地方財政計画の一般財源総額 に対する公債費の割合以下（R2:18.5%）
	県債管理基金活用額	0	0	財源対策としては、原則、活用しない
	経常収支比率	95.7%	95.8%	—
ス ト ック 指 標	県債残高比率 （県債残高/標準財政規模） 〔臨時財政対策債除き〕	261.7%	247.6%	150%程度 〔中間目標（R5年度）：H28年度の全国平均（200%）程度〕
	県債残高 〔臨時財政対策債、減収補填債〕 75%分、補正予算債除き	25,885	24,920	H30年度の70%程度
	H30比	97.5%	93.9%	
	将来負担比率	338.6%	333.3%	280%程度 〔H30決算（339.2%）を行革期間中の縮減（22.5%）の2倍となる50% 程度縮減することで、早期健全化基準（400%）の70%程度に縮減〕
	県債管理基金積立不足率 〔借換債縮減影響除き〕	21.6%	18.8%	15%程度

令和2年度 県政推進の6本柱

一 安全な基盤の確立

事前防災の強化、逃げ遅れゼロ、持続可能な地域環境

二 安心な暮らしの実現

子育て環境の充実、健康寿命の延伸、福祉基盤の強化

三 地域の元気づくり

成長産業の創出、力強い農林水産業、まちの魅力づくり等

四 全員活躍社会の構築

未来を担う人材の育成、多様な人材の活躍

五 交流・環流の促進

インバウンドの促進、移住・定住の促進、交流基盤の充実

六 新たな兵庫の展開

「すこやか兵庫」実現への道筋



安全な基盤(1) 事前防災の強化①

台風第19号豪雨を県内主要6河川にシミュレーション

→ 流域面積が大きな3河川では氾濫する結果

河川名	河川整備計画	第19号規模	結果
千種川	2,800m ³ /s	6,770m ³ /s	氾濫
市川	2,300m ³ /s	5,100m ³ /s	氾濫
武庫川	3,200m ³ /s	5,200m ³ /s	氾濫
明石川	1,000m ³ /s	920m ³ /s	氾濫せず
洲本川	920m ³ /s	780m ³ /s	氾濫せず
住吉川	—	170m ³ /s	氾濫せず

■ 地震・津波対策の推進

- 1 南海トラフ地震・津波 (福良港、西宮・今津地区等)
- 2 日本海津波 (津居山港等)

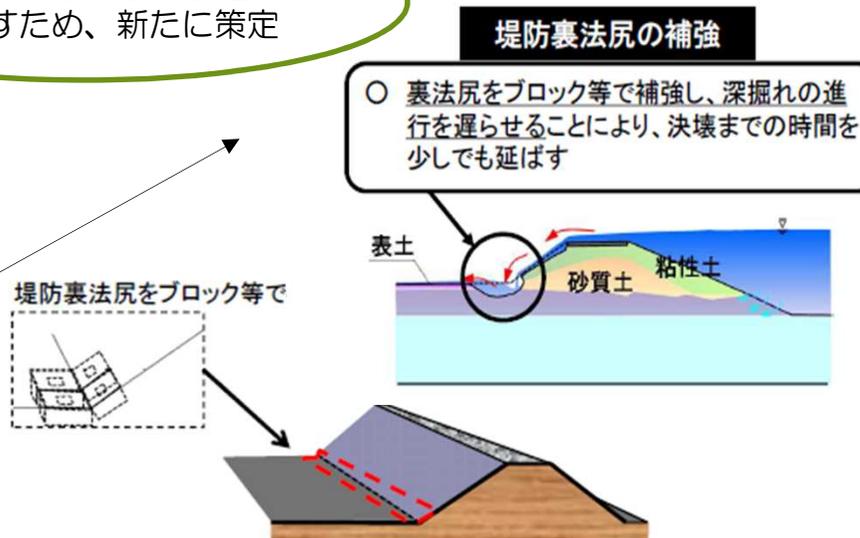
■ 風水害対策の推進

- 1 高潮対策10箇年計画 (鳴尾地区など7カ所)
- 2 第3次山地防災・土砂災害対策計画 (緊急自然債を活用し、県単独砂防・治山を前倒し)
- 3 第2次ため池整備5箇年計画 (要改修430カ所中、大規模なため池64カ所に着手)

■ 河川対策アクションプログラム (R2~10)

県民に10年後の安全安心の姿を示すため、新たに策定

対象事業		内容
①河川改修		河道対策、洪水調整施設整備
②ダムの有効活用	治水	堤体嵩上げや放流設備新設
	利水	利水容量を有効活用 (ダム管理者、利水者の協力)
③超過洪水に備えた堤防強化【新】		天端保護や法尻の補強
④中上流部対策の強化【拡】	中上流部	局所的な治水対策
	上流部	溪流や上流部に砂防堰堤整備
⑤堆積土砂撤去【新】		出水期前に実施し流下能力向上



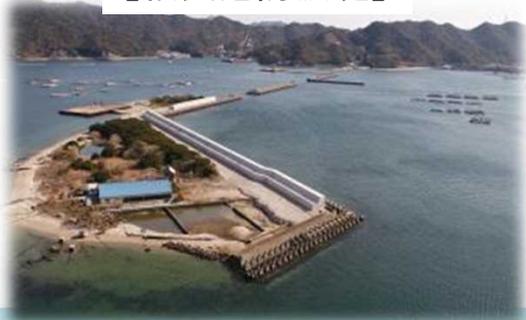
安全な基盤(1) 事前防災の強化②

- ・国の3か年緊急対策(～R2)により、防災・減災対策のより早期の取組が可能となった。
- ・しかし、R3以降にも取り組むべき事業が多く残っている。

緊急対策の延長など、継続的な支援を国へ要望

計画名	期間	R3以降の残事業費
津波防災インフラ整備計画	H26～R5	1 2 2 億円
日本海津波防災インフラ整備計画	R1～R10	2 6 億円
ひょうご道路防災推進10箇年計画	R1～R10	2 9 5 億円
地域の防災道路強靱化プラン	H26～R5	7 0 7 億円
第3次山地防災・土砂災害対策計画	H30～R5	3 9 0 億円
地域総合治水推進計画 (河川対策アクションプログラム)	R2～R10	(策定中)
高潮対策10箇年計画 (仮称)	R1～R10	(策定中)
第2次ため池整備5箇年計画	R1～R5	2 2 5 億円

【福良港防波堤】



【H30.7月豪雨における砂防堰堤の捕捉効果(奥山谷川堰堤(養父市))】
(被災前) (被災後) 土石流を捕捉



安全な基盤(2)

逃げ遅れゼロ

■ マイ避難カードの全県展開

R元:モデル事業(10市町)⇒R2:全県展開

モデル事業の流れ

STEP 1 マイ避難カード作成ワークショップ

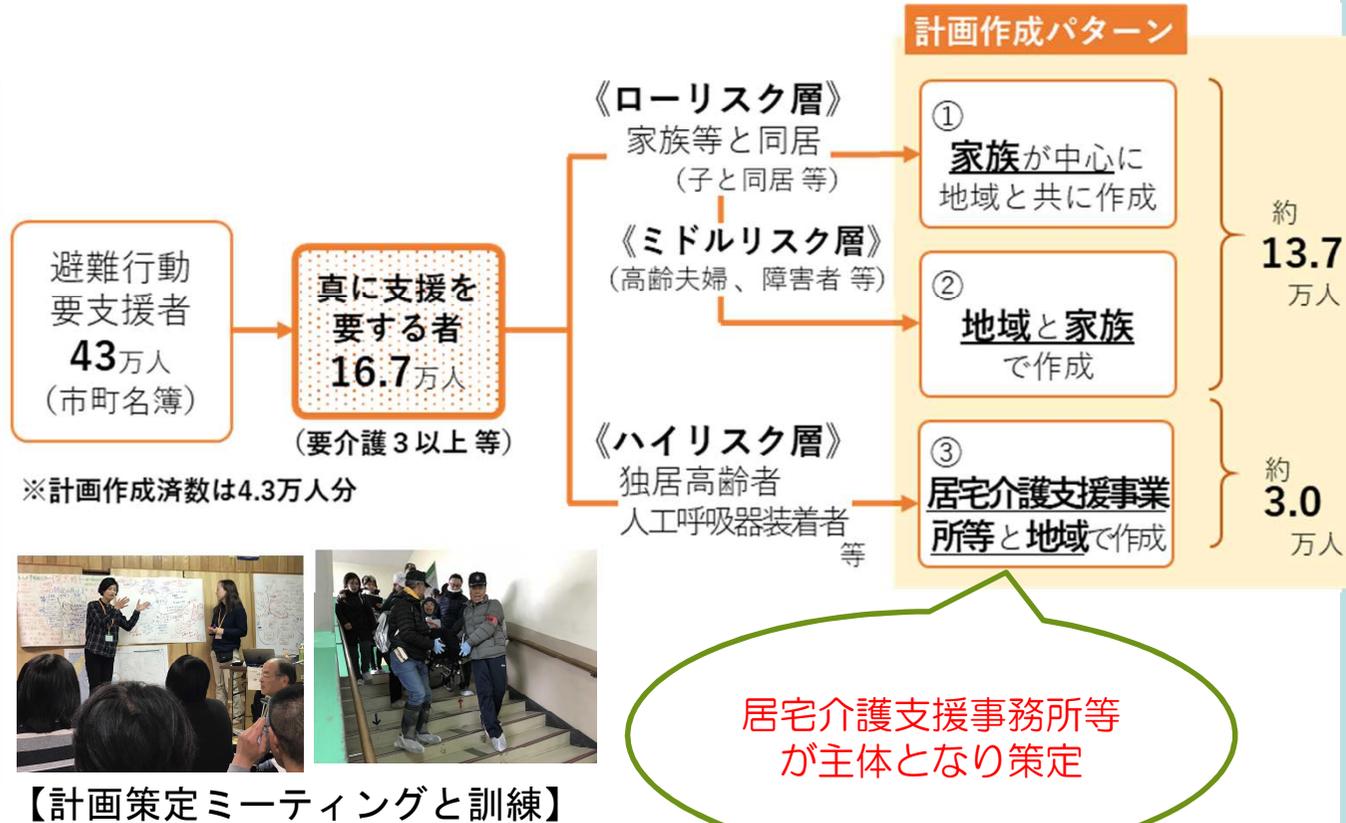
STEP 2 実践的な避難訓練

STEP 3 出水期の実践・検証



【カード作成ワークショップと訓練】

■ 避難行動要支援者(災害弱者)への対策



■ 防災人材の育成拠点の整備(広域防災センター内)

・広域防災センター(三木市)が有する施設、設備を活用した多様な防災人材育成拠点の整備

内容: 宿泊型研修を行うための宿泊施設(定員:55名)の整備

(「実災害を想定した実践的体験型訓練」「防災関係者間のネットワークの形成」など)

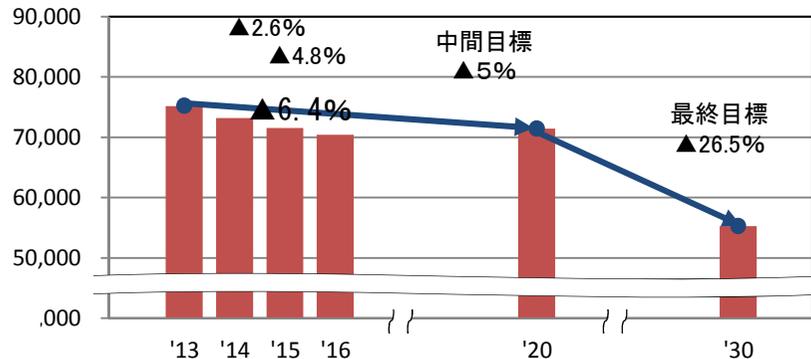
対象: 防災リーダー・防災士、自治体職員、企業、高校生・大学生、児童・親子など

スケジュール: R2~R3

安全な基盤(3) 持続可能な地域環境

地球温暖化対策

1 CO₂県削減目標の見直しに着手(R2) (現行:2030年度に2013年度比▲26.5%)



2 家庭における省エネ支援

- ①家庭用蓄電(10千円/kWh)
- ②太陽光発電(20千円/kWh) (①と同時設置)

②を新たに追加

プラスチックごみ対策

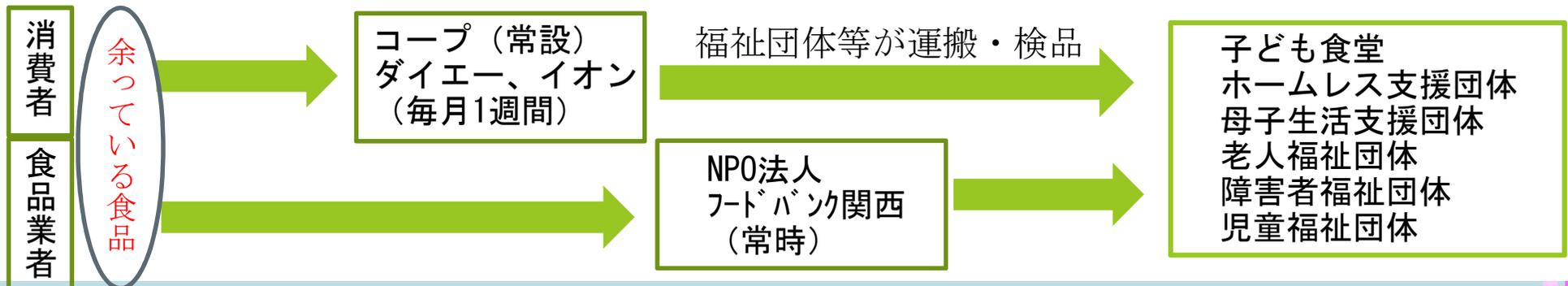
1 プラスチックごみゼロアクション事業

- ・観光地でのごみ分別回収、地域でのペットボトル回収など

2 海底・漂流ごみ対策

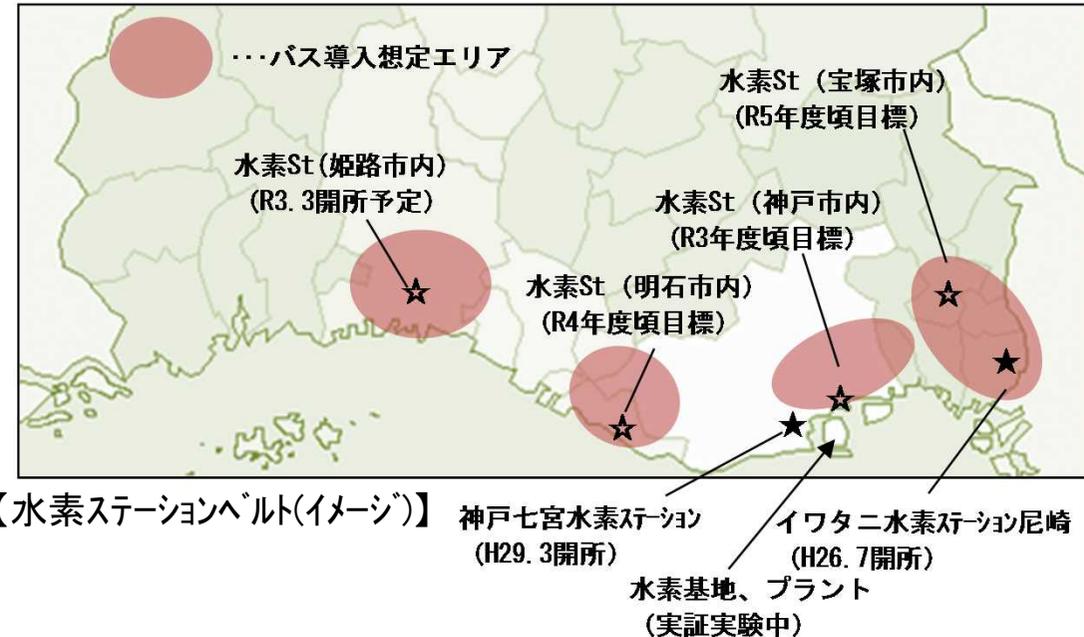
- ・漁業者が操業中に回収(資機材の購入補助)

ひょうごフードドライブ運動(全県展開)



3 水素社会の構築

- ・神戸や尼崎に続くステーションを整備
- ・次世代自動車補助(燃料電池バスを追加)



安心な暮らし(1) 子育て環境の充実

■ 保育の量と質の確保

1 保育所・認定こども園等の整備

- 令和2年度末の待機児童解消をめざし、保育所・認定こども園の整備を推進(3,500人分)

2 幼児教育・保育施設のあり方の検討

- 全体としては減少していく保育ニーズ
- 市町毎の傾向を踏まえ、今後の提供体制等のあり方を検討

ニーズ、受け皿ともに増加	9市町 (阪神間・姫路等)
ニーズ減少、受け皿増加 (※)	20市町
ニーズ、受け皿ともに減少	12市町 (但馬、丹波、淡路等)

(※) ニーズが減少する市町においても、中心部と周辺部でニーズの偏在が大きいことから、引き続き整備が必要

3 保育人材確保策

保育士のモチベーション向上に向けた「ひょうご乳幼児教育・保育マイスター」の育成(40人/年)

■ こども家庭センターの体制強化

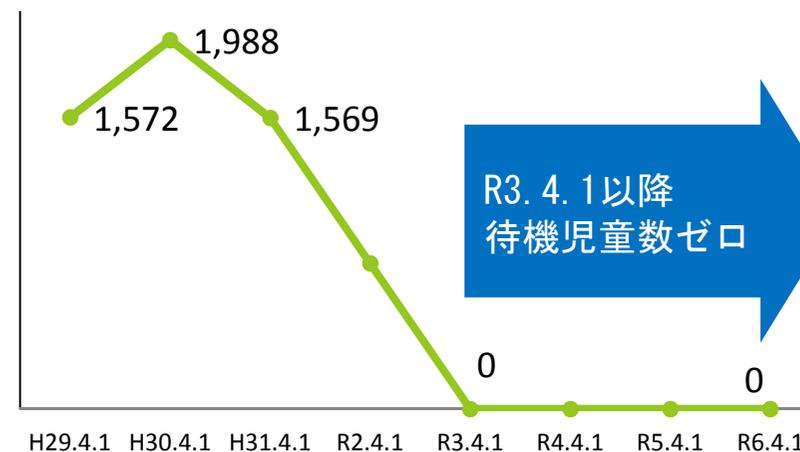
- 阪神地域:急増する児童虐待に対応 ⇒ 尼崎に新設
- 北播磨地域:地理的アクセス(現在:明石)が不便 ⇒ 加東に新設

【出生数の推移】

	2016年	2017年	2018年	2019年
出生数	44,132	42,198	40,303	38,658
対前年度	△ 574	△ 1,934	△ 1,895	△ 1,645

初の4万人割れ

【県内の待機児童数】



【尼崎市内の虐待相談件数】

H26	H30	H30/H26
255	767	301%

安心な暮らし(2) 健康寿命の延伸

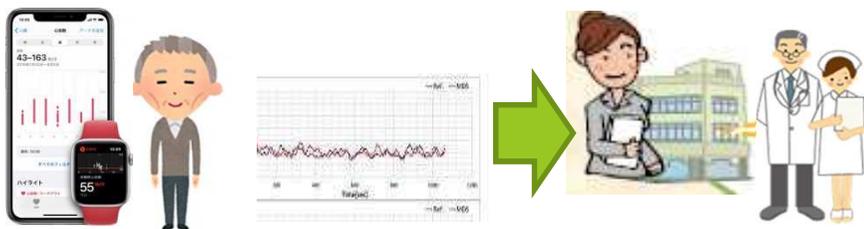
■ 予防・健康づくり

1 医療、健康分野のビッグデータの活用

目的	名称	取得データ	活用例
県民の健康づくり	ひょうご健康づくり支援システム	検診データ(協会健保等)	健康診断の結果を市町ごとにマップ化
	国保データベース分析ツール	検診データ(国保)	転倒、骨折のハイリスク者の抽出
研究開発支援	千年カルテプロジェクト(関西広域連合)	医療機関の電子カルテ	研究機関や製薬会社による事業化
地域医療構想	疾病別医療分析・展開	疾病別医療情報(医療機関)	圏域ごとの疾病別の将来予測

2 スマートウォッチ等を活用した高齢者の健康管理

- ・スマートウォッチの貸与、スマホでアプリをダウンロード
- ・市町保健センターが健康状態を把握し、保健指導
- ・12市町でモデル的に実施(50人/市町)



AYA世代患者が希望を持てるように

■ がん対策の強化

1 若年がん患者妊孕性温存治療支援

[支援内容]

- ・女性: 卵巣組織の凍結、卵子・胚の凍結
- ・男性: 精巣内精子の凍結、精子の凍結

2 AYA世代の陽子線治療の促進

- ・県立粒子線センター、神戸陽子線センターでの治療
- ・所得により3/4(最大216万円)1/2(最大144万円)

3 子宮頸がん検診受診の広域化

- ・受診率の向上に向け(H28:38%→R5:50%へ)、近隣市町での受診が可能に

■ 院内助産・助産師外来の設置支援

	助産師技術支援	院内体制構築支援
課題	助産師の実践能力の強化	医師の理解・協力
支援内容	経験豊富な助産師を派遣し、技術支援(通年派遣)	理解のある医師が訪問し、病院全体の理解に向け助言(月1回程度)
想定病院	公立豊岡病院、県立淡路医療センター	

安心な暮らし(3) 福祉基盤の強化

■ 在宅介護（定期巡回・随時対応型訪問事業）の強化

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R7
計画(累計)	8	12	35	49	60	90	120	300
実績(累計)	12	18	29	36	46	56	65	(目標)

[参入が進まない理由]

- ①事業当初の人件費過剰投資
- ②訪問介護士確保の困難性
- ③利用者確保の困難性

1 参入促進対策

- ・新たに事業所を開設してから最大1年間の過剰投資となる人件費を補助(現行:3人→6人)

2 人材確保対策

- ・必ずしも専門職が行わなくても良い訪問を、地域のボランティアや生活支援サービスが代替(例:通所サービスの送迎バスへの乗車の確認、猛暑時のエアコンスイッチの確認)

■ ひきこもり対策への総合支援

1 ひきこもり総合支援センター(R元.12設置)による一貫支援

- ・早期発見から就労支援まで、段階ごとに支援

2 家族支援プログラム(CRAFT)の人材養成

- ・家族を介した当事者支援 [困難事例の対応強化]
⇒ 公認支援者を養成(25名)

3 電子媒体による居場所の設置

- ・対人恐怖状態から社会との繋がりを持つ契機
⇒ ゲーム、アニメ等の10テーマ

■ ユニバーサル社会づくり

1 重度肢体不自由児者のリハビリ支援

- ・訪問リハビリ料の一部を助成(3割負担→1割負担)

障害児者リハビリテーションセンター(通院)
との組合せで継続的なリハビリが可能

地域の元気づくり(1) 成長産業の創出

【関西の開業率推移】

	H27	H28	H29	
滋賀県	4.33%	4.60%	5.00%	(6位)
京都府	4.61%	5.41%	6.02%	(3位)
大阪府	5.51%	6.38%	7.20%	(2位)
兵庫県	5.00%	5.75%	7.31%	(1位)
奈良県	4.77%	5.15%	5.82%	(4位)
和歌山県	4.34%	4.33%	5.21%	(5位)

出典：近畿経済産業局

■ 起業・スタートアップの支援

1 世界的スタートアップの拠点形成

- ・起業プラザひょうごをSMBC神戸本店に移転
- ・UNOPS(国連プロジェクト・サービス機関)の地域拠点GIC(グローバル・イノベーション・センター)を誘致
- ・尼崎・姫路にエリア拠点を開設

場所[時期]	特徴	規模
神戸(SMBC神戸本店2F)[R2.9]	世界的なスタートアップとの交流	741㎡
GIC施設(同上)[R2.9]	国連調達を通じたスタートアップの育成	433㎡
尼崎(尼崎中小企業センター)[R2.7]	経営相談員による個別メンタリング	240㎡
姫路(大手前ダイネンBLD.Ⅱ)[R2.7]	アンテナショップ等での起業体験	280㎡

【GICイメージ】

国内外の優れた起業家が集積 (R2.3～起業家の公募開始)

- テーマ
- ① 災害時にアクセス困難な地域の被害状況を確認するアプリ
 - ② ドローンを活用した災害状況計測
- 例
- ③ AIを活用したコールセンター(避難民への食料配布場所の提供)
- ※テーマは、途上国や紛争・災害からの復興に関する開発・人道支援



国連機関が調達
(=買い取り)

参考：900件以上、
総額2,000億円超
(2018年度UNOPS実績)

2 スタートアップビザ制度を活用した外国人起業家の支援

- ・県が認定する外国人起業家に、国が最長1年間の在留資格を認める制度を活用
- ・起業プラザに専用の窓口を設け継続的に支援(税務相談、融資、マッチング等)

3 スタートアップ応援ファンド(総額10億円の新ファンド)



【起業プラザ 神戸 (イメージ)】

地域の元気づくり(2) 企業立地の促進

外国・外資系企業の誘致促進

1 国際経済地区への立地・定着支援

- ・オフィスの賃料補助の単価、限度額の引き上げ
- ・地区の拡大(新長田・兵庫地区、淡路等を想定)

@750円/㎡
→@1,500円/㎡
100万円/年
→1,000万円/年

【外資系企業の波及効果】

- ① 高い生産性
(日本企業の1.5倍)
- ② 提携日本企業の販路拡大
(提携企業の62%がメリットに挙げる)
- ③ 働く場の創出
(2002年から県内で8千人雇用)

2 欧米企業向けのプロモーション強化

- ・欧州：兵庫県（フランス）と神戸市（ドイツ）で役割分担
- ・米国：西海岸のハイテク企業を想定

外国人労働者の受入拡大

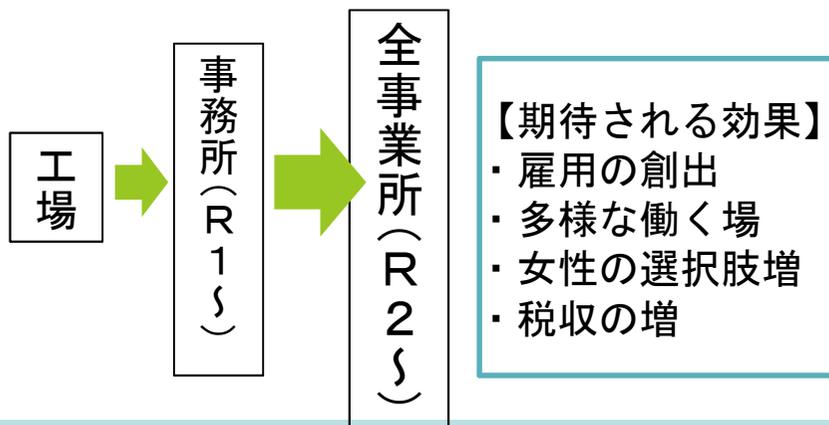
1 外国人雇用に関する専門窓口の設置

- ・「外国人雇用HYOGOサポートデスク」(専門的助言)
- 〔雇用企業数 3,807社 (H25) → 6,277社 (H30)
雇用経験のない企業 24.7%が受入検討 [みなと銀行調]〕

雇用したいが、在留資格関係など、手続きが煩雑でわからない・・・

事業所の誘致の強化（産業立地条例）

- ・支援の対象をほぼ全ての事業所まで拡大



中小企業向け制度融資の拡充

名称	内容
新規開業貸付	・起業準備の外国人の追加など
観光・おもてなし貸付	・レストラン・バーなどナイトライフの充実を支援 ・スキー場における人工降雪機等(～R2年度末)
防災促進貸付	・事業継承計画(BCP)に基づく備えの支援 (施設整備や備蓄など)

■ 農業経営の基盤強化

1 基幹的地域農業法人の育成

- ・集落営農法人の確立に向け、JA中心の特命チーム(3チーム(5人/チーム))が支援

1	集落代表者への説明
2	構成員への設立手続き等の説明
3	機械や財産等の引継ぎ方法の検討
4	役員の役割分担
5	営農・販売計画の策定
6	事務手続きの支援
7	法人設立後の経営相談

段階に応じた支援

2 雇用就農の促進

- ・スマートフォンを利用した農業求人サイトの設置
- ・労働環境整備(男女別水洗トイレなど)

■ 豊かで美しい海の再生

1 環境の保全と創造に関する条例改正を踏まえた瀬戸内海の再生

- ・下水処理場の栄養塩管理運転の拡大
- ・BODの上乗せ排水基準見直しに伴う排水濃度データ収集・解析
- ・投石やコンクリートブロック等による藻場環境整備(第2鹿ノ瀬を含む増殖場)
- ・耕うんによる海底環境の改善

2 全国豊かな海づくり大会 (R3. 10) に向けた機運の醸成

- ・1年前イベント、稚魚の放流(県下の園児・児童)

■ 小規模農家の営農支援

1 小規模農家の放棄田防止対策

- ① 分散農地の活用を奨励
⇒ 既経営農地から離れた農地の借り受けへの支援
- ② 地域農地管理者のサポート体制整備
⇒ 高齢・小規模農家からの作業依頼への対応強化

2 農業施設貸与事業の充実

- ・リース期間を耐用年数の2倍にし、リース料を軽減
- ・対象者の拡大(定年帰農者の追加)
- ・対象施設の拡大(農業用機械を追加)



【会場予定の明石港ベランダ護岸】 15

地域の元気づくり(4) まちの魅力づくり

■ 都市公園のリノベーション

・各公園のリノベーション計画を策定し、順次、整備・改修

公園	構想等
明石公園	屋内テニスコート、野球場、武家屋敷
有馬富士公園	地球アトリエ構想
播磨中央公園	ローラースポーツパーク



来園者が五感を使って芸術や自然に触れ、楽しめる



【地球アトリエ（新宮晋氏構想）】

【さいたまスーパーアリーナ】

■ アリーナ整備の検討

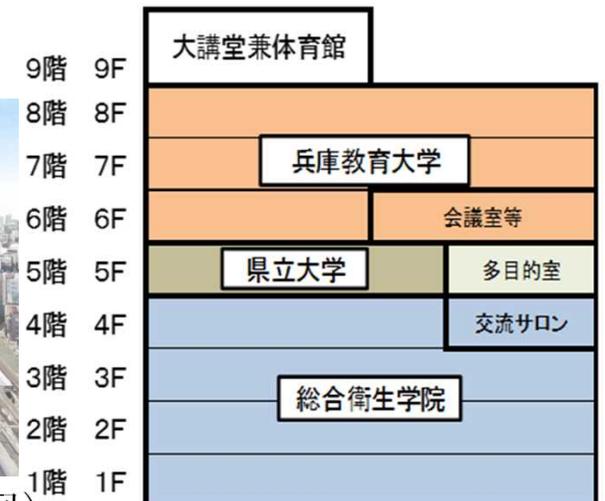
【主要なアリーナ施設】

名称	収容人数	建設年次
ワールド記念ホール(神戸市)	8,000	1984
大阪城ホール	16,000	1983
インテックスアリーナ大阪	10,000	1996
なみはやドーム(門真市)	10,000	1996
万博記念公園(予定地)	15,000	(2025年まで)
さいたまスーパーアリーナ	22,500	2000
横浜アリーナ	17,000	1989
広島グリーンアリーナ	10,000	1993

■ 兵庫の中心・神戸の賑わい創出

- 1 県庁舎等の再整備(基本計画の策定)
- 2 三宮の再開発(雲井通5丁目地区(写真))
- 3 新長田駅南地区(腕塚町5丁目)

・総合衛生学院の移転にあわせて、兵庫教育大学と県立大学を誘致(右図)



地域の元気づくり(5)

五国を活かす

□ 六甲山遊休施設の利活用

①支援の拡充

- ・市街化調整区域における開発基準の見直し(六甲山地区での都市型創造産業を追加)
- ・建替・新設:20,000千円 → 30,000千円(上限)
- ・対象:ホテル、工房、レストラン+オフィス

②産業立地条例の拠点地区に指定

□ 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」

- ・つなぐ銀の馬車道
～轍プロジェクト
- ・フランスを主ターゲットとするプロモーション



□ 第6回コウノトリ未来・国際かいぎ

- ・R2.10.31～11.1 豊岡市民会館文化ホール
- ・内容:国内繁殖地拡大に伴う連携強化



【第5回かいぎ (H26.7)】

□ 阪神間モダニズムの再発見

- ①美術館・博物館の無料開放
- ②県立美術館西宮分館リニューアル(旧潁川美術館(右写真))



□ 大河ドラマ「麒麟が来る」を契機とした“丹波ファン”拡大

- ・明智光秀ゆかりの地の発信



□ 淡路花博20周年記念花みどりフェア

- ・R2.9.19～11.3(秋期(初))
- ・R3.3.20～5.30(春期)
- ・テーマ:みなとつながる「花緑食の島」

【1万本のLEDフラワー(秋開催)】



□ 鳴門の渦潮

- ・世界遺産登録に向けた学術調査や普及啓発
- ・ノルウェーとの共同調査、共同申請の検討

全員活躍社会(1)

未来を担う人材の育成

■ 県立学校の特色化

1 文理融合型教育(兵庫型STEAM教育)

- Science + Technology + Engineering + Art + Math (+ English)
- モデル校(兵庫、加古川東、豊岡) → R5本格展開

2 教育のICT化に向けた環境整備

- タブレット: 全ての高校生が端末を所持(R6年度)
- 大型掲示装置: 特別教室に設置(R5年度)

兵庫型

【文理横断研究例】

- 数学 × スポーツ
- 音楽 × プログラミング
- 歴史 × データサイエンス
- 政治 × デジタル
- 演劇 × ロボット など

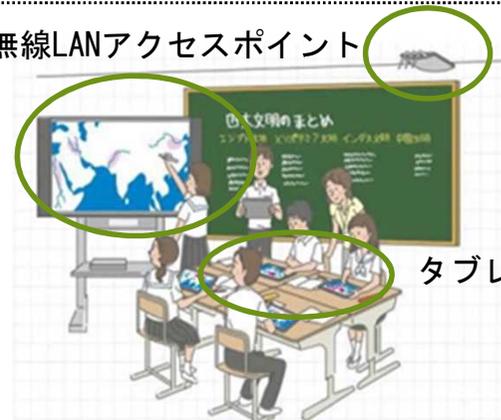
■ 私立高校等授業料軽減の充実

- 年収590万円未満世帯: 国が実質無償化(R2.4~)
- 年収590万円~年収910万円世帯: 県独自の授業料軽減の実施

無線LANアクセスポイント

大型掲示板

タブレット



国+県: R2~実質無償化 (県内平均授業料)

県 授業料軽減補助 (R2~拡充)

県 授業料軽減補助 (~R元)

国 就学支援金 (現行制度 (~R元))

590万円未満との支援格差を解消するため、県単独で支援

国+県: 218,800円

100,000円

国+県: 168,800円

50,000円

国: R2~実質無償化 (全国平均授業料並)

118,800円

408,000円 (R元県内平均)
397,000円 (H29県内平均)
396,000円 (国支給額上限)
379,000円
297,000円
237,600円
218,800円
178,200円
168,800円
118,800円

270 350 590 730 910

■ 国際観光芸術専門職大学

(仮称) 【文科省へ認可申請中】

- 場所: 豊岡市山王町
- 入学定員80人/収容定員320人
- R2: 建設工事、入試 R3: 開学(4月)



【図書館イメージ (7万冊まで充実予定)】

全員活躍社会(2)

多様な人材の活躍支援

■ ミドル世代、シニア世代の活躍

- 1 ひょうご・しごと情報広場による個別支援の拡充
 - ・ミドル世代の正規雇用化の促進
 - ・シニア世代のライフスタイルにあわせた活躍支援

【クリスタルタワー12Fの相談体制】

若者ハローワーク(新卒)
若者仕事倶楽部(～39歳)
【新】ミドル世代就労相談(～64歳)
【新】シニア世代就労相談(65歳～)
【新】外国人サポートデスク [再掲]

■ 障害者の就業支援

1 県独自のジョブコーチ(JC)制度の創設

- ・国のJCでは支援が受けられない障害者に対し、職場を訪問する伴走型での就労支援
- ・特別支援学校OBを活用した兵庫型JCを養成するとともに、専任JCによる派遣調整



■ 外国人材の受入拡大

1 外国人住民と地域住民の共生(モデル事業:加東市)

- ・コミュニケーション円滑化の支援 (通訳、翻訳機等)

5年間で3倍増加
(1,322人(H30.12))

ゴミ出し時のトラブル
医療機関での意思疎通...

交流・環流の促進(1)

インバウンドの促進

第10回世界パラ陸上競技選手権大会
(神戸ユニバーシアード競技場 R3.9)

ゴールデン・スポーツイヤーズ

ラグビー
ワールドカップ
2019

東京2020オリ
ンピック・パ
ラリンピック

ワールドマスターズゲームズ2021関西

2021年5月14日～30日(17日間)

関西一円で35競技59種目

参加者5万人(国内3万人、海外2万人)

2025大阪
・関西万博

□ オリンピック聖火リレー(5/24,25)

・五国を巡る

・56年目のファーストランの会ほか

□ パラリンピック聖火リレー(8/17)

・各市町で採火→1つに「集火式」

□ 事前合宿(5/24,25)

・8市で12カ国28競技

□ 大会エントリー開始(15,000円/人で5競技種目まで可)

競技出場者	2020年 2月 1日～2021年 2月28日
ボランティア	2019年11月20日～2020年10月31日

エントリー数
11,073人
(3/2現在)

□ 1年前イベント

(明石公園、デュオ神戸)

□ KANSAI“生花”リレー(R3.5.14)

・開会式で‘はなやか関西’をPR

・府縣市毎の花(兵庫はテッポウユリ)

ひょうご観光本部(DMO)の強化(R2.3設立見込み)

□ 民間人の活用(プロデューサー(2名)、コンテンツ開発(1名))

□ 周遊・体験型コンテンツの開発(日本遺産、城めぐり、安藤建築、サイクリングなど)

□ 首都圏プロモーションの実施(東京オリ・パラ期間中)

□ YouTube等を活用した情報発信



第10回日中韓観光大臣会合の開催(淡路夢舞台)

【YouTuberによる兵庫の紹介】

交流・環流の促進(2)

移住・定住の促進①

<転出超過の状況>

縮減傾向から一転、R1は1,000人以上拡大(総務省「住民基本台帳人口移動報告(R2.1.31)」)

日本人: ▲7,260人 (全国44位)
前年比: ▲1,172人

外国人含む: ▲6,038人 (全国38位)
前年比: ▲708人

区分	H27	H28	H29	H30	R元	R元-H30
日本人転入 (A)	87,946	85,933	85,438	86,414	85,647	▲ 767
日本人転出 (B)	95,355	92,693	92,095	92,502	92,907	405
転入超過 (C=A-B)	▲ 7,409	▲ 6,760	▲ 6,657	▲ 6,088	▲ 7,260	▲ 1,172
外国人転入超過 (D)	43	455	710	758	1,222	464
合計 (E=C+D)	▲ 7,366	▲ 6,305	▲ 5,947	▲ 5,330	▲ 6,038	▲ 708

20代の転出超過が拡大

東京圏に加え、大阪へも拡大

区分	H30	R元	R元-H30
20~24歳	▲ 4,536	▲ 5,053	▲ 517
男性	▲ 2,868	▲ 3,053	▲ 185
女性	▲ 1,668	▲ 2,000	▲ 332
25~29歳	▲ 2,154	▲ 2,045	109
30代	▲ 27	▲ 542	▲ 515

区分	H30	R元	R元-H30
転入超過	▲ 6,088	▲ 7,260	▲ 1,172
うち東京圏	▲ 8,102	▲ 8,716	▲ 614
うち大阪府	▲ 2,134	▲ 3,302	▲ 1,168

※東京圏：東京、千葉、埼玉、神奈川

市区町別状況

中央区(1,096)	…北区 (▲892)
明石市(929)	西宮市 (▲948)
尼崎市(834)	加古川市(▲969)
兵庫区(623)…	西区 (▲1,216)

交流・環流の促進(2)

移住・定住の促進②

■ カムバックひょうごの促進

1 東京サテライト窓口の設置

・ふるさと回帰支援センター(有楽町(右写真))にサテライト窓口を設置



【39道府県がブースを設置】

【現行カムバックセンター相談実績】

区分	H29		H30		R1(12月末)	
	相談等	移住者	相談等	移住者	相談等	移住者
神戸	3,013	8	3,308	25	2,195	7
東京	1,505	22	2,003	34	3,074	18
計	4,518	30	5,311	59	5,269	25

■ 県内就職の促進 20代・女性対策の強化

- 1 大学1,2年生向けインターンシップの実施
- 2 女子学生と企業のプレマッチング支援
- 3 首都圏における女子学生等を対象とした交流会
- 4 マッチングサイトの充実(他サイトの情報の取り込み)

■ ものづくり分野における女性就業の促進

・3社でモデル実験 (R元) ⇒ 研修や手引きで還元 (R2)

[実施例：カルモ鋳工 (アルミ・銅合金の鋳造品製造)]

- ① 業務 (鋳造、仕上げ、加工、検査) ごとに作業を細分化
 - ② 一定期間の研修後、従事
- ⇒ 結果、女性・文系社員でもほぼ全ての作業が可能

■ e-県民制度の充実

・創設約1年で**3万人**が登録
【居住地別の登録者数】

地域	人数
東京都	2,790
その他関東	3,909
大阪府	3,964
兵庫県	10,932
その他近畿	1,872
その他	6,876
合計	30,343



ふるさと情報発信
県内施設の優待
県内特産品の販売

兵庫県との**繋がりを強化**

交流・環流の促進(3)

交流基盤の充実①

■ ミッシングリンクの解消

1 大阪湾岸道路西伸部

- ・本工事、調査設計(六甲アイランド北～駒栄)
- ・長大橋を活用した展望施設(設計・検討)

2 名神湾岸連絡線

- ・令和2年度中の都市計画決定

3 播磨臨海地域道路

- ・計画段階評価完了、詳細ルート・構造の検討

4 山陰近畿自動車道

- ・浜坂道路Ⅱ期:用地取得、居組IC整備工事等

5 北近畿豊岡自動車道

- ・日高豊岡南道路:令和2年度中開通予定
- ・豊岡IC～豊岡北JCT・IC:令和2年度事業着手

■ 空港利用の促進

1 関西3空港懇談会での更なる規制緩和

- ・神戸空港:発着回数枠60→80回/日まで到達
- ⇒ 万博を見据え、更なる拡大と国際化を求めていく

2 コウトリ但馬空港のあり方検討・調査業務

- ・RESA(滑走路端安全区域)の拡張が必要(R9.3末迄)
- ⇒ 航空需要等を踏まえ、滑走路延伸を含めて検討

【効果例】
 大阪～城崎間
 未整備：208分
 現在：166分
 整備後：158分
 (豊岡ICまで開通)
 ⇒ 50分短縮



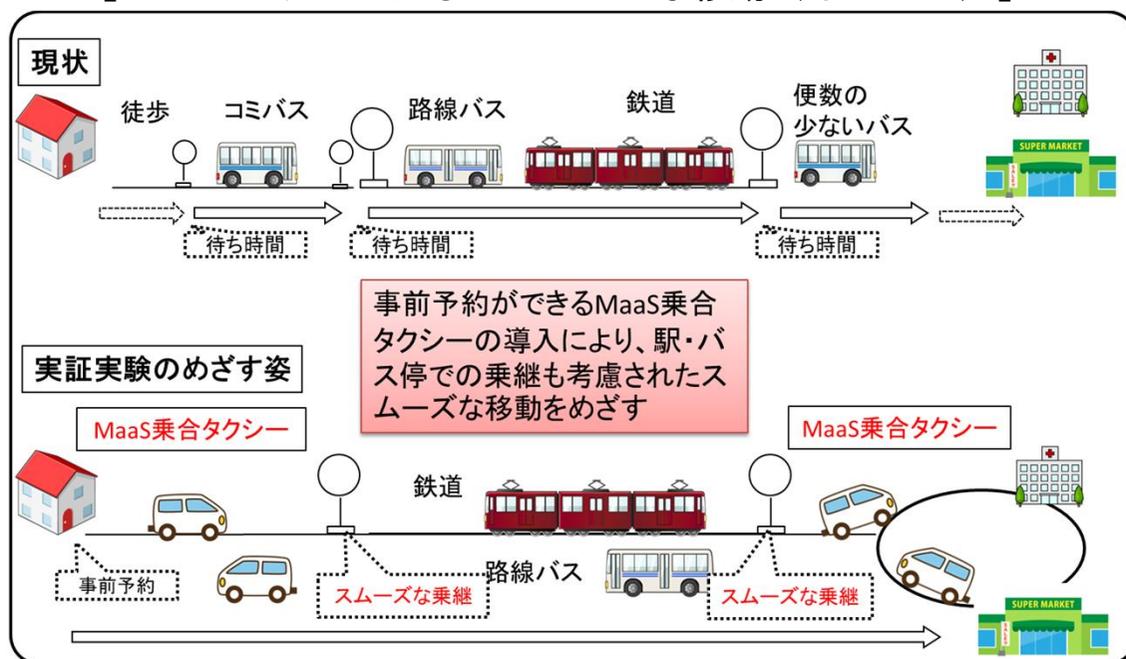
交流・環流の促進(3)

■ ひょうごMaaSの実証実験

バス路線の減退に伴う交通不便地の増加

⇒ 乗合タクシー等にMaaSシステムを掲載する実証実験に取り組む市町を支援(10市町予定)

【MaaSシステムによるシームレスな移動(イメージ)】



交流基盤の充実②

■ ひょうごサイクリングモデルルート

広域モデルルート(R1策定・下表)の支線となる地域ルートを設定

⇒ 「ツールドひょうご」における活用も検討

No.	地域	名称	主な経由地
1	淡路	アワイチ	明石海峡大橋、灘黒岩水仙郷、道の駅うずしお、慶野松原
2	神戸・阪神南	武庫川・六甲山ヒルクライムルート	武庫川河川敷、六甲山山頂
3	阪神北	北摂里山周回コース	宝塚大劇場、有馬富士公園、一庫公園、大阪国際空港
4	東播磨・北播磨	山田錦の里ロングライドコース	加古川河川敷、播磨中央公園、加古大池、江井島海岸
5	中播磨・但馬	銀の馬車道・鉱石の道ルート	姫路城、生野銀山、神子畑選鉱場跡
6	西播磨	ぐるっと西はりま	赤穂御崎、平福、伊和神社、新舞子浜
7	但馬	コウノトリチャレンジライドルート	城崎温泉、神鍋高原山陰海岸、但馬空港、出石
8	丹波	兵庫丹波チャレンジ200	篠山城跡、黒井城跡、川代溪谷、立杭陶の郷



【アワイチ(淡路島一周サイクリングルート)】

新たな兵庫の展開 「すこやか兵庫」実現への道筋

- ・「リーディングプロジェクト」と「第二期地域創生戦略」を両輪に、『すこやか兵庫』の実現をめざす
- ・併せて、2050年～2060年頃も見据え、長期ビジョンの見直しにも着手

21世紀
長期ビ
ジョン

- ・将来構想研究会で議論を開始(R1～)
- ・地域ビジョン検討委員会で議論を開始(R2～)

兵庫2030
年の展望

「すこやか兵庫」の実現

展望で掲げた「3つの基本方針」のもと、以下の16のプロジェクトを設定

I 「未来の活力」の創出

- ①起業立県実現、②先端産業創造
- ③全員活躍、④価値創造人材育成
- ⑤水素社会先導、⑥御食国ひょうご
- ⑦豊かな森・海再生

II 「暮らしの質」の追求

- ⑧スポーツ・フォー・ライフ推進
- ⑨つながる芸術文化
- ⑩在宅強化・健康寿命延伸
- ⑪防災・減災加速、⑫まちなか安心

III 「ダイナミックな交流・環流」の拡大

- ⑬体験ツーリズム、⑭外国人安心
- ⑮次世代移動・買い物、⑯空間再生

10の地域版リーディングプロジェクト

リーディング
プロジェクト
地域創生戦略

分野別計画

医療・福祉、産業・雇用、
農林水産、交通・インフラ 等

現行「地域創生戦略」(2015～2019年度)
→ 第二期戦略(2020～2025年度)

理念 五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ

対策 1.地域の元気づくり
〈ひと・まち・産業 元気〉

- | | | |
|--------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 2.社会増対策
〈社会減ゼロ〉 | 3.自然増対策
-子ども・子育て-
〈婚姻件数拡大〉 | 4.自然増対策
-健康長寿-
〈健康寿命延伸〉 |
|--------------------|----------------------------------|-------------------------------|

若者対策	女性対策	外国人材対策	関係人口対策
------	------	--------	--------

8つの地域プロジェクト・モデル